



# 東京グリーン

〒135-0016  
東京都江東区東陽 2-2-20  
東京 YMCA 東陽町センター内

Chartered 1973



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2026.07 >

BULLETIN

2026年7月～2027年6月

会 長 樋口 順英  
副 会 長 青木 方枝  
書 記 村杉 一榮  
会 計 小仁 恵子  
監 査 柿沼 敬喜  
担当主事 熊沢 佳代

国際会長 J・W・エルトヴィク 「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」  
アジア太平洋地域会長 ラチャン・マニカーン 「アジア太平洋地域をBMで目覚めさせる」  
東日本区理事 山下 真 「挑戦なくして進化なし」  
関東東部部長 廣田 光司 「地域奉仕活動とYMCAサービスでクラブを元気に」  
クラブ会長 樋口 順英 「若々しく、楽しいクラブライフ」

## 7月(年度始めに)

「太陽の下、人は労苦するが、すべての労苦も何になろう。一代過ぎれば、また一代が起こり、永遠に耐えるのは大地。日は昇り、日は沈み、あえぎ戻り、また昇る。」コヘレトの言葉 第1章2～6節

\*宇宙は循環し決して完結しない。終わりのない世界に生きる私たちは、空しい一瞬を生きているのかも知れないが、儚いからこそ生きる意味があり価値がある。私たちの生きる現実を見直してみよう。

## 2026年 7月キックオフ例会



日時: **2026年7月15日(水)**

17:30～19:50 場所:東陽町センター

司会: 青木 方枝メン、 受付: 樋口 順英メン  
開会点鐘 樋口 会 長  
ワイズソング、ワイズの信条唱和 全 員  
ゲスト、ビジター紹介 樋口 会 長  
聖句・お祈り・食事 村杉一榮メン  
ニコニコひとこと 全員  
① 東京 YMCA VISION 150 熊沢 担当主事  
② 新年度クラブ運営方針 樋口 会長  
③ 25/26年度会計報告 小仁恵子メン  
④ 26/27年度会計予算 小仁恵子メン  
各種報告 樋口 会長 ほか  
YMCA 報告 熊沢 担当主事ほか  
閉会点鐘 樋口 会長

## ◆巻頭言◆

柿沼 敬喜

世の中では、多くのボランティアクラブで若者たちが楽しみながら積極的に活動しています。一方、我がクラブでは若い世代の入会者がなく、その募集に苦慮しています。その背景には、若者を引きつける魅力や活動の発信が十分でないことも一因と考えられます。

また、47年間継続してきましたCS事業「神田川船の会」では、リバーガイドの担い手不足も課題です。しかし、人生100年時代、定年後も社会に貢献したいと考える人は多く、江戸・東京の歴史や文化に興味をもつ方であれば、年齢や性別を問わずガイドとして活躍できる可能性があります。

今後のクラブは、若い世代の参加を促すとともに、長年の豊かな経験を持つ方々や女性を含め、多様な人材が活躍できる開かれた組織を目指していくべきです。

年齢や性別にとらわれることなく、「神田川船の会」をはじめとするCS活動を通じて地域に貢献し、その喜びを分かち合える仲間を広く迎え入れることが、クラブの未来を支え、次の世代へと活動をつないでいく力になるでしょう。以上

【例会出席率】 在籍:16名 6月出席率8/13 62%

出席:6月 (メン8名、メネット0名) 計8名

【ニコニコ】¥7,000

## ◆今年度のクラブ運営方針

### 「若々しく、楽しいクラブライフ」

樋口順英



皆さま、今年度も会長をやらせていただきます。引き続き、ご指導よろしくお願いたします。

今年度の主題を「若々しく、楽しいクラブライフ」といたしました。

私たちのクラブは、年齢に関係なく、いつまでも若々しい気持ちを持ち続けることが大切だと思っています。

また、それぞれが得意とすることや関心のあるイベントがあれば、クラブの枠を超えて参加し、地域社会やYMCA活動に貢献できれば、これほど素晴らしいことはありません。

月に一度、東陽町に集まり、お弁当を囲みながら楽しく語り、心穏ひとときを過ごしましょう。

そして何より、この一年は健康第一でいきましょう。

<今期のねらい>

#### 1. 健康第一

- 健康は最優先、細心の注意をしていただく。気持ちは若くとも、無理はしないで。

#### 2. 楽しい例会

- 魅力ある卓話とイベント例会(納涼、クリスマス)
- 卓話やイベントをPRしビジターに参加いただく

#### 3. 年々進化する神田川船の会

- おもてなしの心をもって、魅力ある新ルート、ガイド力向上によりお客様に幸せを贈る

#### 4. 東京YMCAイベントへの支援

- 様々なイベントへの関心を持ち、相応の支援を、  
・第40回国際ナショナルチャリティーラン  
・東陽町センタークリスマスオープンハウス他

#### 5. クラブの枠を超えて、CS活動に参加しませんか?

- 自身の関心ある分野などで、YMCAイベントや、各クラブの卓話、イベントがあれば参加、訪問。

#### 6. IT活用による事務改善

- 無理なく、できることから先ずはやってみる

以上

\*\*\*\*\*

## 26/27年度会費振込のおねがい

お世話様です。振込口座は下記でお願いいたします。

みずほ銀行 深川支店#446 (普) 3064402

名義 トウキョウグリーンワイズメンズクラブ

\*\*\*\*\*

## ◆2026年6月例会報告

日時: 2026年6月17日(水) 17:30~19:40

場所: 東京YMCA 東陽町センター

出席者: 青木、柿沼、熊沢、小仁、佐野、村杉、目黒、樋口

### ▲ ニコニコと、1年を振り返り、来年を大いに語る!

佐野 守メン(26/27年度地域奉仕)



この1年は地域奉仕(スペシャルオリンピック等)活動とスケジュールが重なり、ワイズ活動が満足に出来なかった。しかし今後とも体の続く限り活動を続けます。

青木方枝メン:(同、副会長)



すべての例会や行事に参加しましたが高齢化し、参加者が限られてきたのでさみしい。若いメンバーと交流する機会も少ない。でもグリーンは団結力で頑張りましょう。

村杉一榮メン:(同、書記)



例会が楽しく充実していて、すばらしいと思います。ユース活動は大事ですが、「老人」ももっと大事だと思います。自分の得意とするところを発揮していきたいです。

小仁恵子メン:(同、会計)



ことしは例会が充実していた。ユース活動はグリーンも(間接的に)やっていると思う。これからユースとのつながりも持っていきたいです。今できることを精一杯やりましょう。

柿沼敬喜メン:(同、監事、監査)



体はガタガタだが、みんなに助けられて感謝します。石巻には孫夫婦も参加し気持ちが若返りました。船の会は、歴史に関心を持つ元気な女性を歓迎します。

目黒卓メン:(同、神田川船の会実行委員長)



ことし5月の船の会は、催行できてよかった。今回は水辺ガイド3名にお手伝いいただきありがたい。老人差別(エイジズム)は問題だ。老人こそ、もっと元気になるべきだ。

樋口順英メン:(同、会長) 詳細は年度活動報告のとおりです。「健康第一」はイマイチだったが、充実した例会ができたと自画自賛! (村杉 記)

▲ YMCA 報告

神田川船の会運営に関する諸提言があり、関係者と日を改めて検討することとします。(内容省略)

▲ハッピーバースデー：古平光市、村杉一榮、熊沢佳代各メン



【写真左】  
右から、熊沢、  
村杉、樋口  
各メン

(樋口 記)

◆第29回東日本区大会報告～ありがとう！

日 時：2026年6月7日(土)13:00～20:00

場 所：石巻市河北総合センター(本大会)

参加者：青木、小仁、村杉、柿沼、熊沢、樋口各メン

▲ 報告

- ① 東日本大震災から15年、「瓦礫、命、感謝。次の未来へ」をテーマに石巻市で開催され、全国から340名が参加しました。
- ② 川上委員長のテーマに対する強い熱意のもと、メンバー、関係者の皆様の筋金の入った運営、YMCAさんとの固い絆が感じられ、一方、参加者の復興支援のさまざまな「思い」と重なって、心がひとつになった素晴らしい大会でした。いい勉強になりました。
- ③ 大会運営としては、バナーセレモニー、表彰などのスケジュールを短縮し、時間をぴったりと守る運営の妙にはおどろき感服しました。
- ④ 翌日のエクスカージョン(福島)においては、バス中でのYMCA各位の心のこもったご説明に感動しました。心からお礼を申し上げます。(樋口 記)



▲ 2025-2026年度 東日本区表彰

表彰者	賞名	受賞者名
地域 Yサ	CS 献金達成賞	東京グリーン
	ASF 献金達成賞	東京グリーン
	FF 献金達成賞	東京グリーン
会員増強	ハンドロップ賞	東京グリーン
国際 ・交流	BF 献金達成賞	東京グリーン
	TOF 献金達成賞	東京グリーン
	RMB 献金達成賞	東京グリーン
	YES献金達成賞	東京グリーン
ユース	ユース活動支援献金達成賞	東京グリーン
東日本区	グラندスラム賞	東京グリーン

◆8月納涼例会のご案内

★★「われらも浅草でインド理解!」★★

日 時：8月19日(水)17:00～20:00

場 所：インド料理「ニュープラシダ」浅草店

住 所：台東区花川戸2丁目9-6

アクセス：東京メトロ銀座線浅草駅下車徒歩10分

会 費：¥5,000

(連絡先：青木 090-3519-0852)

◆9月例会のご案内～関東東部部長公式訪問～

日 時：9月16日(水)17:30～20:00

場 所：東京 YMCA 東陽町センター

卓話者：小野 健氏(札幌ワイズメンズクラブ会長)

卓 題：「アフリカの村落給水・衛生事情」

※氏は長年アフリカ、ブルキナファソ、マダガスカルなど給水プロジェクトに携わって、生活環境改善に活躍されています。このたびご多忙の合間をぬって卓話いただくことになりました。

(連絡先：樋口 080-5452-2480)

◆今後の主なスケジュール

- 1) 7月15日(水) 7月第一例会(東陽町)17:30～
- 2) 7月25日(土) 関東東部評議会(東陽町)13:30～
- 3) 8月12日(水) 8月第二例会(Zoom)15:00～
- 4) 8月19日(水) 8月納涼例会(浅草)17:00～
- 5) 9月4日(金)～6日(日) YVLF(八王子)
- 6) 9月9日(水) 9月第二例会(Zoom)15:00～
- 7) 9月16日(水) 9月第一例会(東陽町)17:30～
- 8) 9月26日(土) 第40回国際ナショナル・チャリティーラン
- 9) 10月10日(土) 第94回神田川船の会

## 「コヘレトの言葉を読もう」小友 聡 著 (日本基督教出版2019年)



旧約聖書の後半部に「コヘレトの言葉」と言う書がある。

箴言、ヨブ記と並んで知恵文学の一つだとされ、格言や生きるための指針が記されている。

この書の冒頭の言葉は「なんという空しさ、なんという空しさ、すべては空しい」で始まる。慰めや励ましの言葉を期待して読む聖書の読者にとっては、ドキッと

する内容である。しかし読み進めると、必ずしも悲観論や厭世気分を醸成するものではないことが分かる。むしろ現在に生きる私たちへ生きる意味や喜びを教えて勇気付けてくれる言葉が散りばめられている事に気が付く。

来世に過大な期待をするのではなく、現世を喜び楽しみ神からの贈り物である生を素直に受け入れるべきだと説くのである。人の死を見つめつつ、そこから翻って今を生きよ、つまり「空しい」とは、人生の空しさを自覚する事から現在の生に感謝し、精一杯生きよと勧めているのである。

ユダヤ教を生活の規範としていた当時のユダヤ人は、あらゆる生活面で神から与えられた律法順守を第1として生活していた。

神の言葉を信じていれば、たとえこの世で不幸であっても、死後の世界で幸せになれるとの終末論的な思考が蔓延していた。

この世の矛盾が大きければ大きいほどその課題は、来世でしか解決出来ないと言う諦観を受け入れていたのである。

これに対してコヘレトは、異を唱え現世で楽しみ愛することは、決して神の律法に背かないと語ったのである。

現在に生きる私たちに対してもコヘレトの言葉は決して古臭い過去の教訓ではなく今を生きる私たちに生きる勇気を与えてくれる。

「コヘレトの言葉を読もう—生きよ」(小友聡著(日本基督教団出版局2019年))と言う名著がある。

今年度は、コヘレトの言葉(12章から成る)から選び当クラブの年間聖句の試みとしてみたい。

(西澤 記)

1. 全国のYMCAでは 水上安全教育として「ウォーターセーフティー」の名称で、40年に渡り継続した活動を行っている。夏休みを目の前にしたこの時期、東京YMCAで水泳プログラムを行っている。

東陽町・山手・御殿山の各センターでは、幼児・小学生の親子を対象に、着衣泳体験や心肺蘇生法を学ぶプログラムを実施。また通常クラスでも同様に、実践を通じて水上安全についての体験も重ねている。

また、これらの水上安全のポイントをまとめた「ウォーターセーフティーハンドブック」も制作していて、YMCAに関わる子どもたちへの配布に加え、近隣の小学校、幼稚園、保育園等に約23,000部無料配布した(東京YMCAのHPからもダウンロード可)。

2. 5月30日、男子学生寮「山手学舎」の入舎式が行われ、2人の新舎生の入舎を祝った。

3. 5月中旬より夏期キャンプ・スクールの申込受付を開始した。キャンプは9コースが設定され、多くの申込が寄せられている。今回も「フレンドシップファンド」により、経済的に困難なご家庭には、キャンプやプールスクールの参加費を補助する。また、今年度は山中湖センターにて、家族対象のファミリーキャンプ、児童養護施設対象のキャンプ、リーダーOB OGやワイズメンズクラブ等を対象としたリユニオンキャンプの実施を予定している。

なお、6月19日～21日に野尻リーダートレーニング、6月26日～28日に山中リーダートレーニングが実施された。

4. 小学3年生から高校生を対象とした海外交流プログラム「ダイナミックサマー」(北米YMCAのキャンプ体験)は11コースが設定され、6月21日から「Camp Erdman in ハワイ」がスタートしている。

5. 今後の主な行事予定

・「早天祈祷会」7月1日(山手センター/オンライン)

奨励: 榊原 正人氏(東京YMCA理事)

・「日本YMCA同盟協議会」6月20日～21日(東山荘)

・「第21回世界YMCA大会」7月19～25日(トロント)

・「キッズワールドカップ in 韓国」8月10～14日(ソウル)

・「外国にルーツのある子どものサマーキャンプ」

8月21～23日(山中湖センター)

・「第40回インターナショナル・チャリティーラン」

—駅伝大会: 9月26日(都立木場公園)

—オンラインウォーキング大会: 11月下旬～12月上旬

(クラブ担当主事 熊沢)

## 古平さんからのご便り

—長野県下伊那郡松川町にお住まいの古平メンからご便りが届きました。

アンダーゴルフを発展させた「カップインワン」の考案と普及に尽力され、町長表彰、TV放映と、乗りに乗っていらっしゃいます。(ビデオをお見せします)

車の運転は大丈夫ですかネ?—

### 「溢れ出る恵み」 古平 光市

私は長野に来て「カップインワン」というスポーツを主宰して活動しています。

2~3m先にあるゴール盤カップに4色のボールを手で転がして、何級入ったかを競う簡単なスポーツです。

目の前にあるゴールに入りそうで入らない、入った時の嬉しさは格別なものです。皆が応援し合って賑やかに楽しむので喜ばれています。

そのカップインワンの普及に対して、昨年11月に松川町町長表彰をいただきました。地元の方々の推薦があったればこそその恵みでした。【写真下】



その町長表彰を受けるようにして、地元のテレビ局が地元の部奈伝承センターで行っている体験会を取材してくれました。

普通は翌週に放映してくれるのに、なかなか放映してくれません。テレビ局にちょっと怒るような態度で放映日を聞きに行ったら「古平さん、あの取材はNHKで放映する取材だったんです」と言われてビックリ仰天、「ええっ本当ですか?あの本物のNHK?」「今、編集しているので1月の放映は決まっていますが、細かい日程はまだ決まっていません」笑いながら答えてくれました。

この小さな活動をあの大きなNHKが取り上げてくれるなんて信じられません。メチャクチャ嬉しくて、部奈のクニャクニャ坂道を飛ぶように走り上がって家に帰り、邦子と手を取り合って喜び合いました。

2026年1月21日「イブニング信州」で放映が決まり、1分か2分かもしれない、でも私にとっては大きな大きな出来事です。

見てください!と力いっぱいPRしました。長野県中にカップインワンが知れることなんです。お知らせ文書を500枚、いや800枚配りました。

いざ本番!テレビが始まりまって、かじりつくように見ました。1分2分でなく4分30秒!まばたきもしないで真剣に見ました。

よく編集されていて、放映が終わるやいなや、諏訪の老人ホームから「おらの所へも来てくれるんかね」電話が入りました。私の電話番号どうして分かったんだろう?考えるユトリもなく約束が出来ました。大きな恵みでした。

勢いに乗って、アンダーゴルフ協会カップインワンという団体名から「カップインワン協会」という団体名になって、私は理事長職について、当面二人代表で義弟と組んで活動が始まりました。

さらに恵みは溢れます。自動車運転免許の更新の恵みです。

目医者で視力検査したら0.6でした。0.7以上ないと更新できないし、免許がなければ今の活動ができなくてボケてしまう。目医者は運が良ければ合格する時もあるから受けてきなさい、と冷たい話でした。

神さま、助けてください〜と真剣に祈っていた時、サントリーとロート製薬が、ほぼ同時に目のボヤケを治す飲み薬を発売するニュースが流れました。

私は「これだ!」と両方共ワラワモツカム思いで頼んでダブルで飲んで自動車学校の試験を受けました。

認知症のテストはパスして視力検査に移り、効き目の強い目薬を、この時だけでいいとばかり差して「右、下、右、左・・・」試験官が0.9合格と言ってくれた時!思わずガッツポーズしてしまいました。

警察署での検査も裸眼でパスしました。何という恵み!メガネなしの写真と撮ってバンザア〜。【写真右】

その日の夕食は特上の握り寿司を二人で分け分けて祝いました。

神さま、ありがとうございます。

以上、町長表彰、NHK放映、運転免許の更新と3連チャンの恵みの報告でした。ごきげんよう!

